

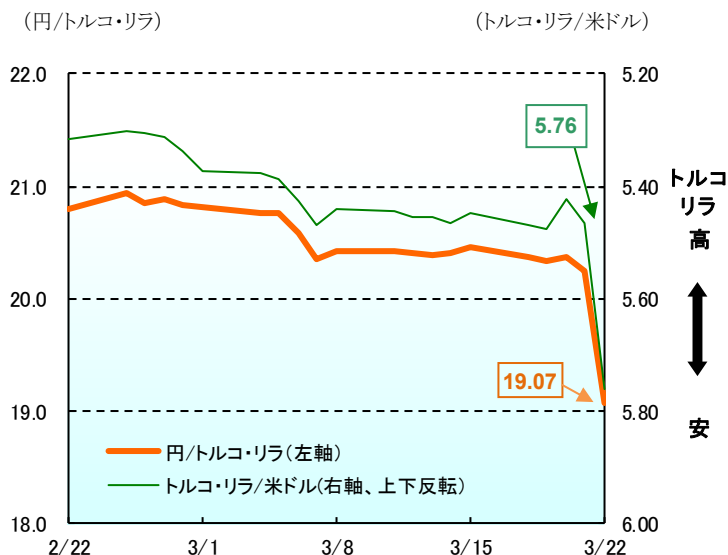
【2019年3月16日～2019年3月22日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに下落しました。トルコの2年国債金利は低下しました。

先週は、3月22日（現地）にユーロ圏のPMI（購買担当者指数）が市場予想よりも悪かったことからリスク回避的な動きが広がり、トルコ・リラは対米ドル・対円ともに大きく下落しました。トルコ中央銀行はトルコ・リラの下落を受けて、資金供給手段である1週間物レポ入札を停止すると発表し、実質的に金融引き締めを行いました。国債は週半ばまでは経済指標の改善を受けて、徐々に金利が低下しましたが、22日に通貨と同様にリスク回避的な動きを受けて売られ、金利の低下幅を縮小させました。

【トルコ・リラ 為替推移】（2019年2月22日～2019年3月22日）

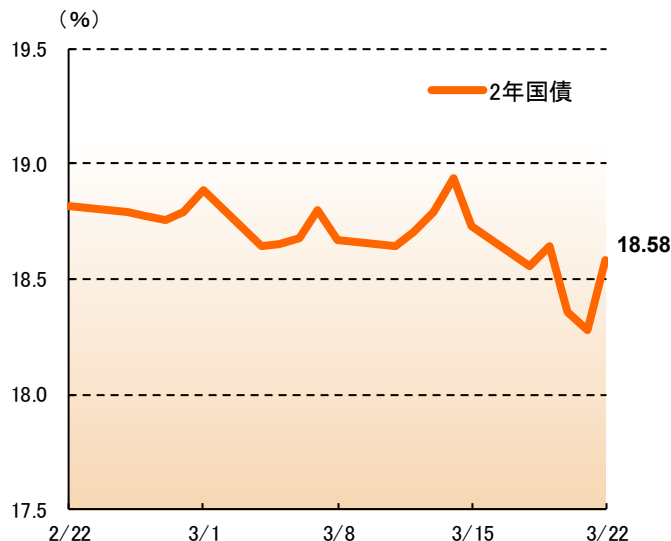


※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

今週は週末に統一地方選挙を控えていることから、政治的なヘッドラインに左右される展開となりそうです。足元では与党の苦戦が伝えられており、人気取りのための追加経済対策などで財政の悪化が懸念される可能性があります。また、先週のトルコ・リラの下落について、エルドアン大統領は個別の金融機関を名指しで批判しており、市場が懸念するような発言や金融政策の変更にも注意が必要と考えます。

【トルコ 金利推移】（2019年2月22日～2019年3月22日）



（出所：ブルームバーグより大和投資信託作成）

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212（営業日の9:00～17:00）HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>